

水道料金改定後の 収入状況について

令和2年4月から水道料金を改定

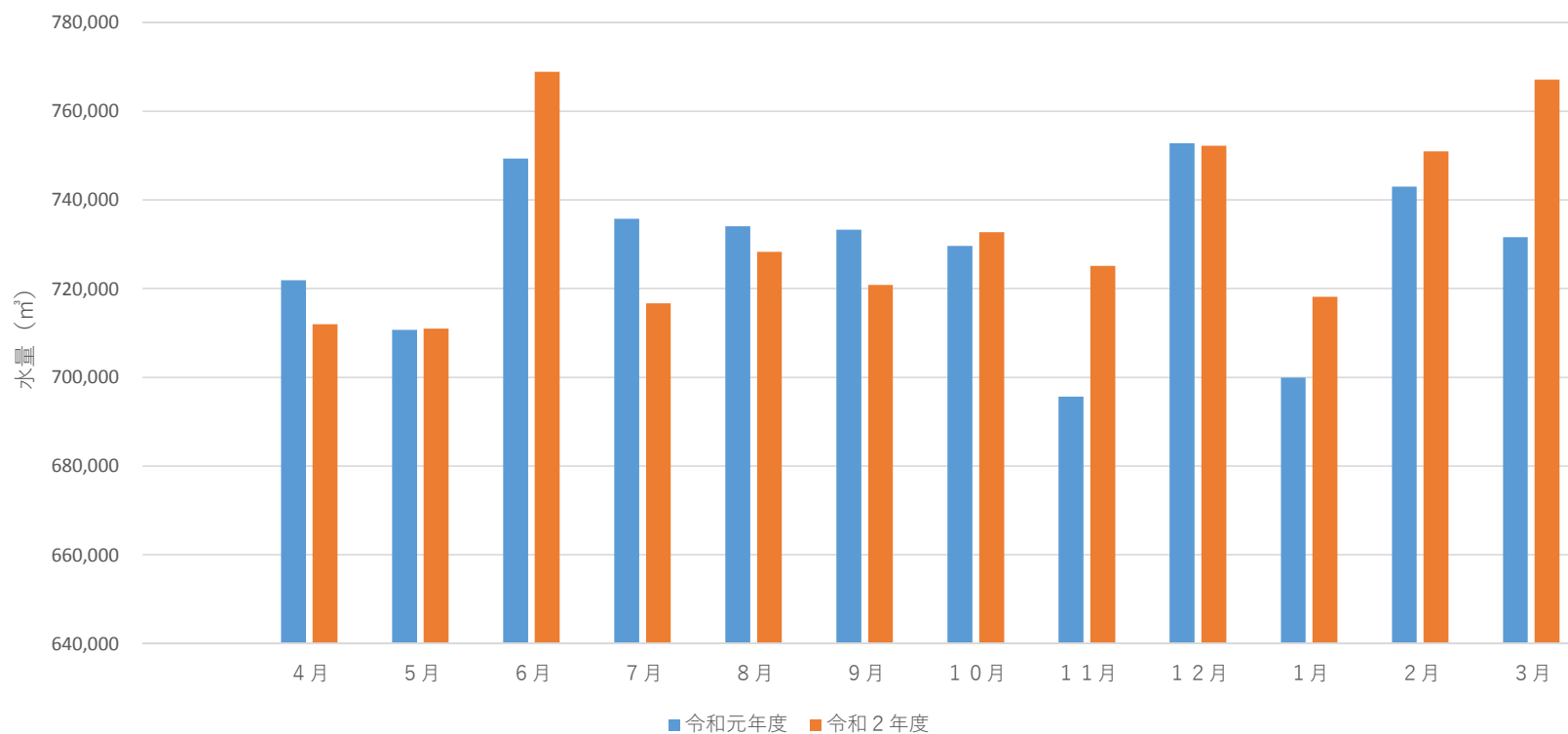
▶ 改定の概要

- ・用途別から口径別へ変更
- ・基本水量を10m³から6m³へ変更
- ・従量料金区画の増
- ・改定率 12%（対平成30年度調定比）

▶ 改定に伴う経過措置

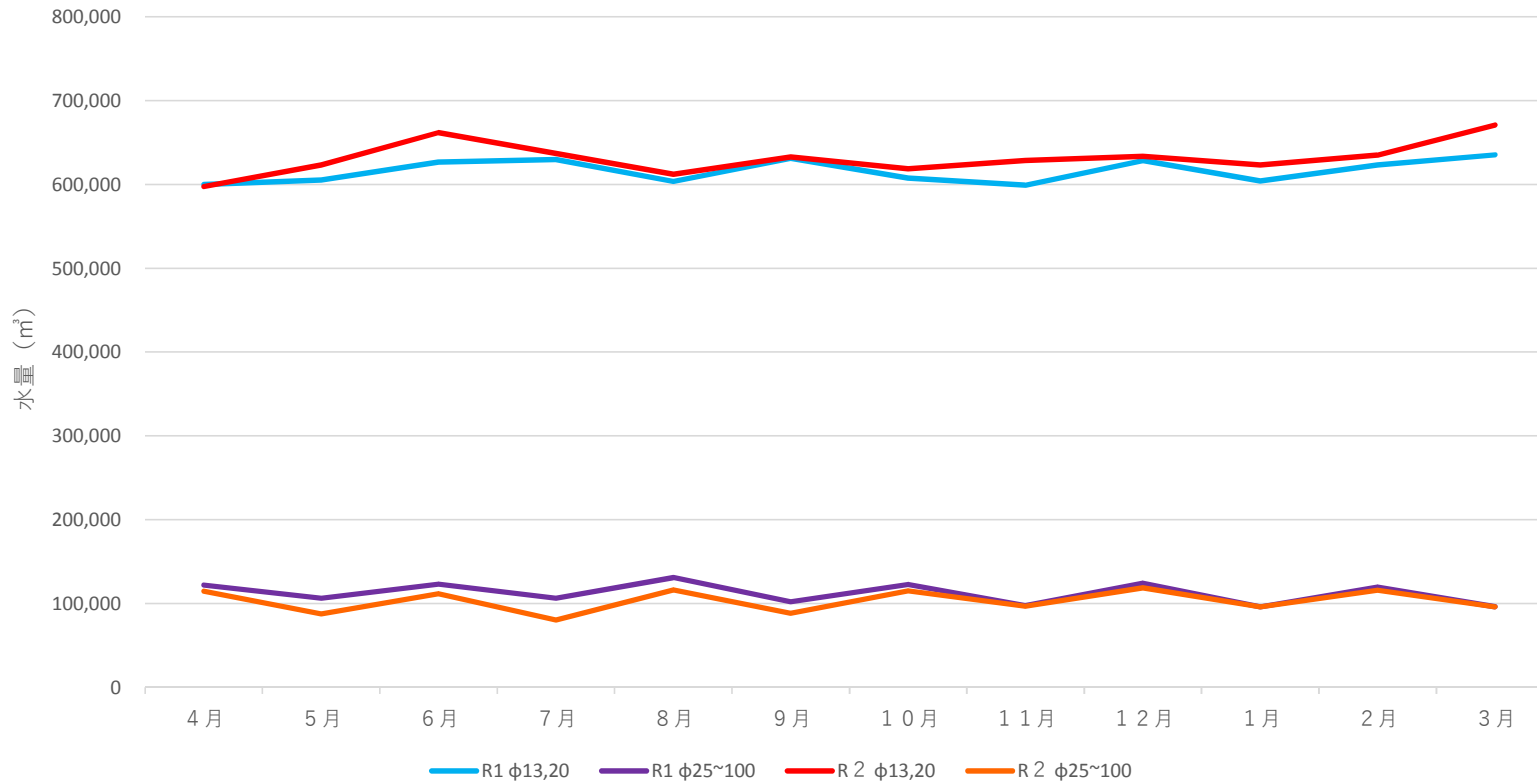
- ・4月分と5月分料金については、3月分を含むため経過措置として旧料金にて請求
- ・6月検針分から改定後の料金での請求

月別有収水量の比較



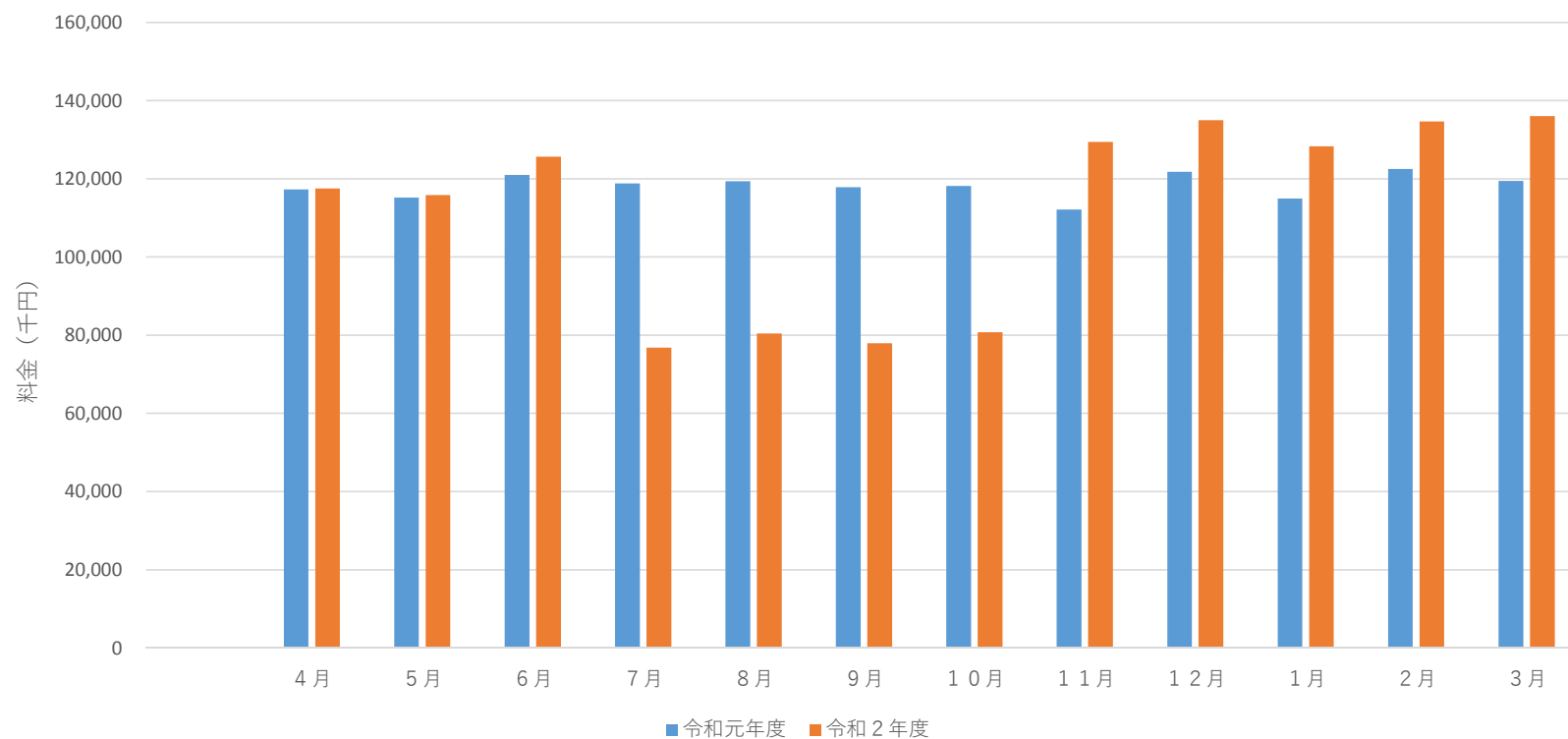
- ・ 年間で有収水量は66,825m³、0.76%の微増
- ・ 7月から9月については、令和2年度の水量が減少

口径別使用水量の比較



- 小口径の水量は、全体的に増加
- 大口径の水量は、9月までは減少、それ以降は同等

月別水道料金の比較



- 給水収益は年間で84,811,464円、6.5%の減少
- 給水収益に新型コロナウイルス感染症対策基本料金無料化分を併せて比較すると108,622,836円、8.3%の増加